

# 八街隊友会報

・発行日 R3.10.28  
・発行責任者 隊友会事務局



## 支部長挨拶（コロナ禍が続く中で）

皆さん今日は、長引くコロナ禍で懇親会等の行事を中止せざるを得ない状況が続く、久しくお会いしていませんが如何お過ごしでしょうか。そんな中、過日役員会を開き情報の共有と諸々のことについて話し合いました。それらを「会報」としてお伝えします。皆さんのご意見もお聞かせください。

### 一 八街隊友会と県隊友会八街支部について

八街の隊友会は独特で、八街隊友会だけの会員と千葉県隊友会八街支部会員で八街隊友会にも加入した会員で構成され、一緒に活動しています。（県隊友会独自のものは支部会員のみ）何年前かに「全員が県隊友会に加入したら・・・」と提案しましたが、八街だけで楽しみたい、県隊友会に加入するメリットがない、選択肢が色々あった方が良好の理由で受け入れてもらえませんでした。時は流れ、県隊友会への加入制度は終身会員制が終止し、年会費制のみとなりました。年会費制会員の場合、県隊友会と八街隊友会の両方に毎年同額の会費を納めなければならず負担になるはずで、会員個々にとっては同じ様な活動内容なので県隊友会を辞めようかと云う事になりかねません。やがては支部会員が減少し単独では活動ができなくなり他の支部に併合してもらおうことになれば八街隊友会とは関係のない組織になってしまいます。『これからの八街隊友会について』この機会に考えてみませんか。『なお、『令和元年房総半島台風（十五号）』では会員の皆さんのご協力を得て八街支部は独自の活動（災害復旧ボランティア）をしました。その際に支援助資等の購入にかかった実費を上回る支部防災活動費（日当分を含む）を県隊友会（隊友会本部）から受領しました。また、被災した会員（八街は、5名）は直接お見舞いを頂きました。支部等への還元事例として紹介しておきます。

二 役員会に若い力を入れてはどうかとの提言がありました。大いに歓迎です。「老・壮・青」幅広く、自薦他薦を問わず、ご連絡をお待ちしております。（承認は総会）

三 コロナ下でも奉仕活動等一部の行事は実施しました。参加された皆さん本当にありがとうございます。特に8月の炎天下での戦没者忠魂碑清掃奉仕では作業終了後に支援した遺族会会長の船木勝利様からねぎらいの言葉を頂きました。毎年計画しておりますので次回の参加をお待ちしております。

新型コロナウイルスは、第5波がようやく収まりを見せていますが、まだまだ予断を許せません。これからの季節インフルエンザと併せご注意下さい。また親しくお会いできる機会を楽しみにしております。

## 提言



八街隊友会理事 内田政三

コロナ下における危機対応

武漢ウイルス（新型コロナウイルス）発生以来、約1年8ヶ月経過（本稿執筆時・令和3年5月末日）しつとある。これまで、日本では緊急事態宣言、蔓延防止対策等の措置を講じて、辛うじて医療崩壊をしのいできたが、ここに来て崩壊の危機に立たされつつある。もし、医療崩壊を来し、更に強い変異株に晒された場合、国民の命の安全が危ぶまれるのが気がかりである。これ以上の混乱は、勘弁してもらいたい、ここで、少し振り返ってみたい。国及び各都道府県、市区町村のコロナ対策は果たして、状況不明下の対応措置として十分だったのだろうかということだ。むやみに厳しくする必要はないが、相手脅威の状況不明下では、最悪の事態を想定し、早め早めの措置が、鉄則であるが、現実までの対応は、後手に回り、中途半端で、だからだと状況に流されているように見える。けじめのない措置は、国民・市民の意識を鈍らせ、コロナウイルスに感染の隙を与えていると考えられる。日本にとって、感染防止と経済活動の継続という両輪の目標追求は、Ⅱ後の有事体制未整備のままの平時体制で乗り切るのは、極めて難しいといえる。今まで、阪神淡路大震災や、東日本大震災・原発事故等を経験し、それぞれの危機管理の教訓を得ているとはいえず、これらは、コロナ禍と比較して、地域的にも

機能的にも限定的であったため、平時体制で乗り切れたが、これらに対し、今回のコロナ禍は、全世界的であり、全国的規模で、戦後類を見ない生物戦すなわち戦争と見てよいであろう。今や、未知の状況に遭遇した人類がどう生き延びるのかが問われ、それぞれの国がそのあり方を問われ、世界中の一人一人が覚悟を問われているといえる。このコロナ禍における日本の対応は、III後初めての戦争・生物戦であるという認識の下、平時の国家・行政運営でなく、有事の国家・行政運営に切り替えて臨むべきである。この事態を有事体制整備のチャンスと捉え、有事体制の整備と並行して、このコロナの感染防止と経済活動の継続という戦いを乗り切る方策を取るべきである。この機会を逃した場合、有事体制整備のチャンスは、永遠に来ないと認識し、国家・地方の運営を司る人は勿論、国民一人一人が自覚を持って一丸となって立ち上がって行くことを祈願したい。

### 忠魂碑清掃奉仕

八月十五日は、戦没者を追悼し、平和を祈念する日です。例年三区の忠魂碑前で行なわれている市遺族会主催の戦没者追悼式は、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、昨年引き続き今年も遺族会役員のみで執り行なわれました。

追悼式に先立ち八月十日に遺族会会長の依頼により遺族会会員と八街隊友会会員と合同で忠魂碑の清掃を行ないました。当日は、晴天に恵まれ参加した隊友会会員十名（以下敬称略。内田（豊）、内田（政）、遠藤（誠）、鬼島、久古、小山、斎藤、高宮、乗常、綿貫）も大汗をかきなが



### 令和3年度隊友会八街支部忘年会中止のお知らせ

ら清掃奉仕に取り組みました。終了後、遺族会船木会長からは「さすがは隊友会、若さ溢れる機敏な動きは素晴らしい。どうもありがとうございます。」と感謝とねぎらいの言葉を頂いております。また、千葉県隊友会からも清掃奉仕活動に対して地域に根ざした活動の功績として助成金も頂いておりますので、ここにご報告させていただきます。来年も、是非積極的に参加をお願い申し上げます。

今年も市長をはじめ衆議院議員、県会議員、市会議員、NPO等の特別会員、協力会、遺族会、家族会等の関係各位と支部会員の懇親を深めるために年末に忘年会を企画しておりましたが、十月に緊急事態宣言が解除され、また、十月二十五日からは全面解除の動きとはなっていますが、宣言解除後にも感染が再拡大し、一日に四万人にも発症者が出ているイギリスの例もあり、全く予断の許す状況ではありません。役員会議において、現状では、今年の忘年会の実施は時期尚早であるとのことから「今年度は忘年会を企画しない。」との判断が下されました。二年連続で実施できないことは、誠に残念ではありますが、年末の忘年会は実施しないこととなりましたので、各会員のご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、恒例の忘年会も中止となりましたので、年末に来年のカレンダーの配布を致します。

### 八街隊友会への入会のご案内

この際、昨年と同様に、八街隊友会役員がご自宅まで年会費の集金に伺いますので、宜しくお願い申し上げます。

現在、八街市には県の隊友会のみに入っている方がいます。県隊友会としての活動（各種行事等）（部隊研修、見学、奉仕活動等）への参加は、個人ではなく、支部を通じての参加申請となりますので、八街隊友会に加入している県隊友会員のみで実施しているのが現状であり、人数も限られています。

現在、八街隊友会では役員会議等において「県隊友会のみ参加」している会員の八街隊友会への加入促進を図るために負担軽減について議論中であります。まだ、結論は出ていませんが、是非、みなさんと一緒になつて活動や親睦の場を広げませんか。